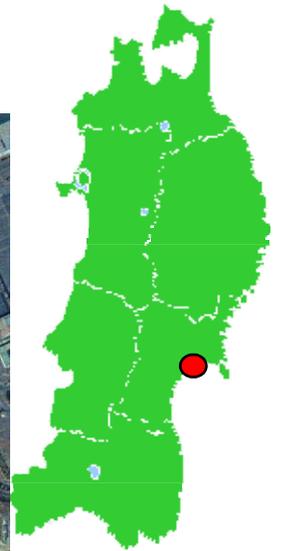
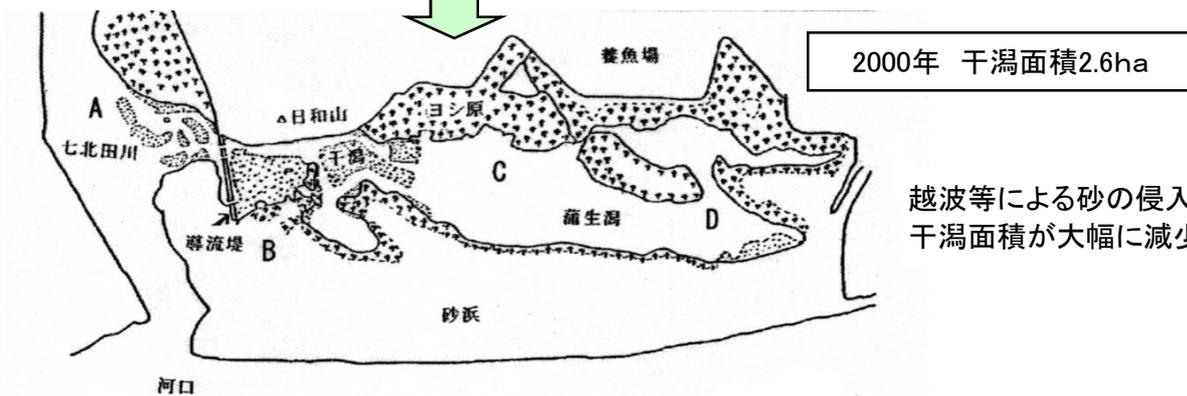
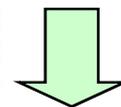
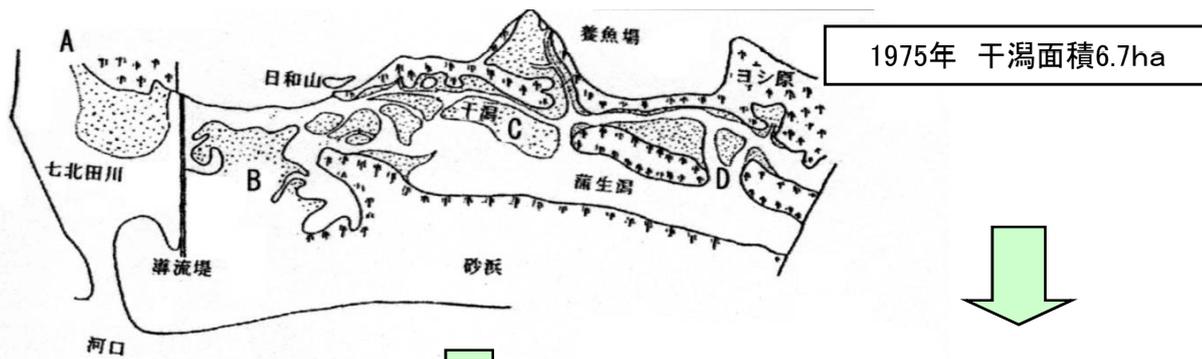


がもう  
蒲生干潟自然再生協議会



自然再生の対象となる区域 (全体構想案より)



越波等による砂の侵入で  
干潟面積が大幅に減少



導流堤の老朽化による砂、海水の流入



濡筋の消失



シギ・チドリ類の個体数の減少

# 森吉山麓高原自然再生協議会の取組

## 1 再生内容

### 森林の再生

かつての草地として開発された森吉山麓高原をブナ林等に再生し、周辺の自然環境とともに保全を行う。

## 2 自然再生協議会

平成17年7月に組織化し、現在の構成員数20。

個人(専門家を含む)11、団体4、関係地方公共団体2、関係行政機関3

## 3 自然再生全体構想

平成18年3月に作成。

### ○自然再生の対象区域

森吉山麓高原(487.7ha)

### ○自然再生の目標

森林の再生には長い年月がかかるため、短期的(今後30年間)、中期的(50年後)、長期的(100年後)な目標を設定しブナ林等の再生を目指す。

短期的目標：①植栽適地の選定、②周辺森林との連続性をもつ箇所への植林、③林縁部における掻き起こし等の更新補助作業、④植栽木や実生の保育作業

中期的目標：①森林育成の方向性についての検討、②森林環境教育活動等

長期的目標：森林の様々な役割の理解

## 4 自然再生事業実施計画

### ○森吉山麓高原自然再生事業実施計画(平成18年10月作成、実施者：秋田県)

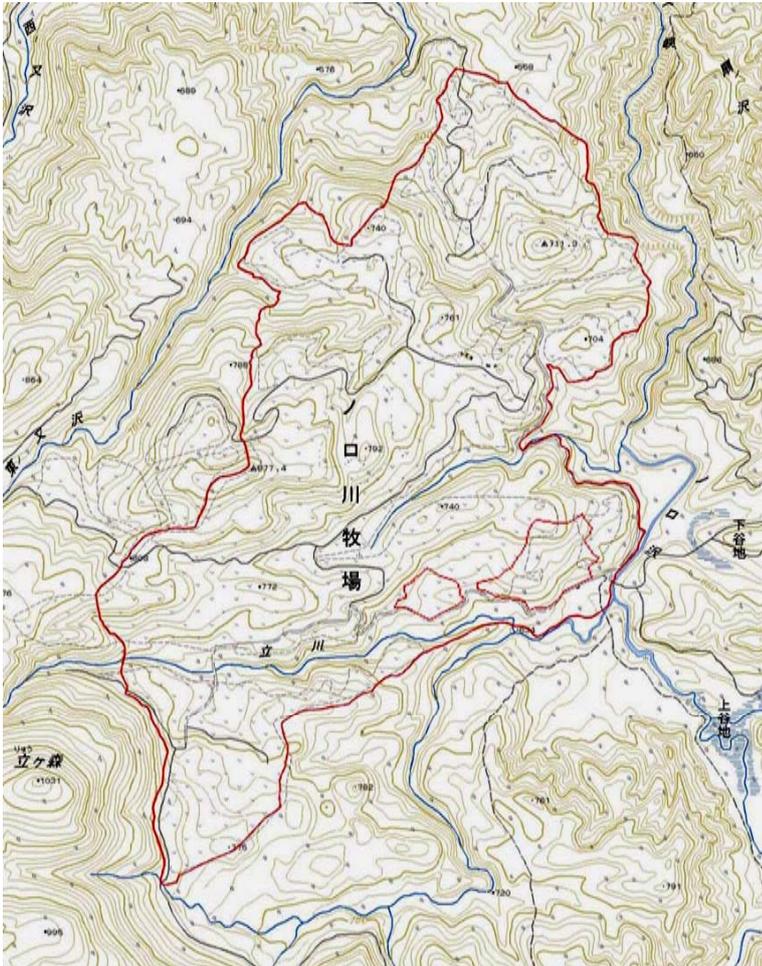
既に二次林へ移行している箇所についてはその推移を見守ることとし、それ以外の草地に対しては、①植栽(111.3ha)、②土壌改良、③天然下種更新補助作業(3.6ha)、④育苗を実施。

#### 【進捗状況】

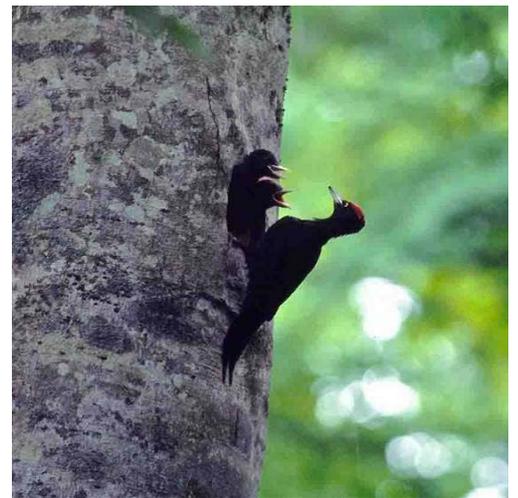
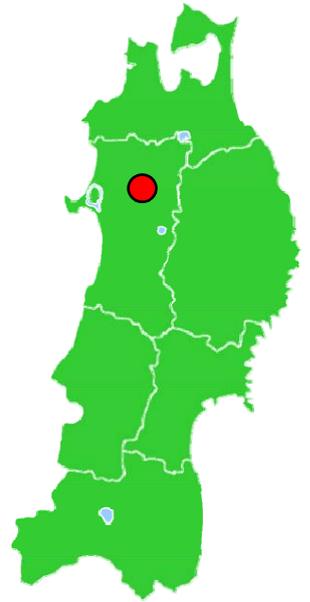
ブナを中心として実生苗(稚幼樹)の採取を行うとともに、島状植栽、列状植栽等の手法による「植栽試験(0.70ha)」を実施。

また、植栽試験地における活着率、生長量等のモニタリング調査を実施。

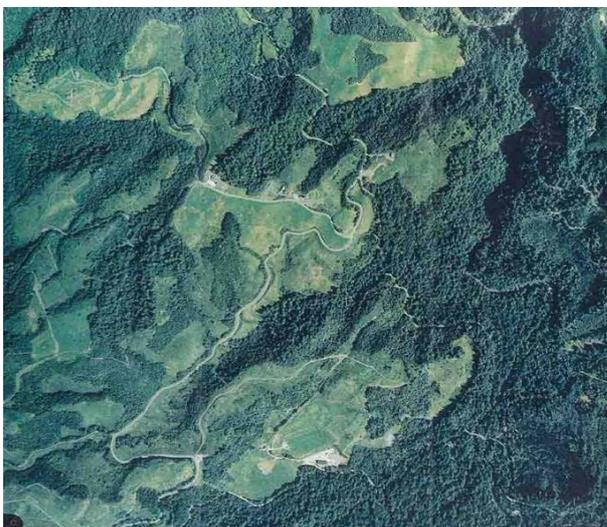
# もりよし 森吉山麓高原自然再生協議会



自然再生の対象となる区域(全体構想より)



森吉山麓は本州では数少ないクマゲラの繁殖地の一つであるが、生活環境とする森林面積の不足が懸念されている



昭和50年頃から約500haのブナ林が伐採され、牧場造成が実施された



現在では牧場の需要は減少し草原の中に二次林が点在している

# 竹ヶ島海中公園自然再生協議会の取組

## 1 再生内容

サンゴ群集の再生

サンゴ群集を中心とした海洋生態系の回復に取り組む。

## 2 自然再生協議会

平成17年9月に組織化し、現在の構成員数47。

個人(専門家を含む)21、団体14、関係地方公共団体10、関係行政機関2

## 3 自然再生全体構想

平成18年3月に作成。

### ○自然再生の対象区域

竹ヶ島海中公園(約10ha)を囲む周辺海域と、海部川、宍喰川及び野根川の3水系の河川流域とその周辺地域。

### ○自然再生の目標

エダミドリイシ(サンゴ)が健全な状態で生き続けていける豊かな沿岸生態系の回復を目指す。

①エダミドリイシの特性把握、②海中公園周辺の環境改善、③陸域からの環境負荷の軽減、④地域の多様な主体の参加と連携による取組(協働)、⑤海中公園と共生する地域漁業の活性化の5つの目標を設定。

## 4 自然再生事業実施計画

検討中。

### **【進捗状況】**

防波堤の改良による流況改善のため、「既設防波堤の改良方法の検討」を実施。

また、エダミドリイシの特性把握のため、「エダミドリイシ増殖方法の検討」を実施。